

奈良の世界遺産を商品化しよう

～手ぬぐいのデザインを売り込もう～

奈良市立佐保台小学校 教諭 西谷 隆詞

1. はじめに

昨年度は6年生の子どもたちと世界遺産学習を行い、奈良のすばらしさを学ぶことができた。今年度の5年生ではすばらしさを学ぶだけでなく、そのすばらしさを広める体験をさせたいと考えた。

また、キャリア教育と世界遺産学習の融合も考慮し、奈良をモチーフにした手拭いを販売する(株)なら町長屋朱鳥まちながやあけみどりと連携した。手拭いを商品化することを通して、奈良のすばらしさについて考えるだけでなく、社会に働きかけていく力を育てたい。

2. ねらい

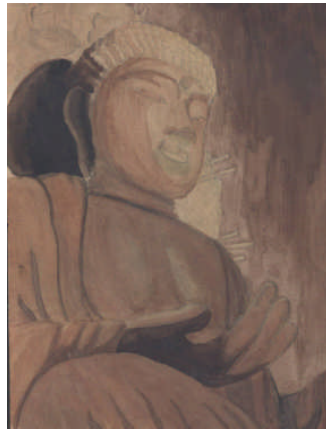
- ・手ぬぐいをデザインするという経験を通して、社会に積極的に関わろうとする意識を育てる。
- ・これまでと違った視点から奈良のよさ、奈良らしさについて考え、デザイン化する。
- ・商品化という目標をもつことによって、意欲的に奈良について学ぶ。

3. 学習活動の概要(全29時間)

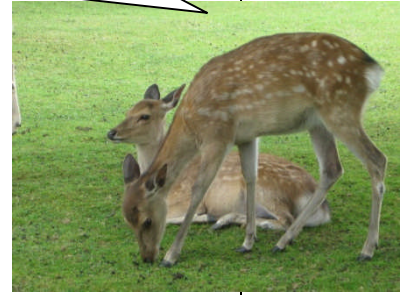
主な学習活動	学習への支援	評価	備考
<p>1. 学習に対する見通しをもつ。(1時間)</p> <p>・世界遺産現地見学について</p> <p>・手ぬぐいのデザイン化</p> <p>奈良にはそんなにいいものがあるの？</p> <p>何をデザインすればよいかわからない。世界遺産にはどんなものがあるのだろう。</p>	<p>・年間を通した予定を提示するとともに、学習の価値について話し、意欲をもたせる。</p>	<p>・学習への意欲をもつ。</p>	<p>振り返りカード</p>
<p>2. 世間の人たちが、奈良のどんな世界遺産に興味をもっているのか調べてみよう。(1時間)</p>	<p>・インターネットの活用方法や配慮する点を指導する。</p> <p>・調査結果を共通点で整理させる。</p>	<p>・データを整理してまとめる。</p>	<p>奈良の世界遺産についてはよく知っているよ。</p> <p>自分には無理だ。そんな大きなところで発表できるようなものは作れない。</p>



- ・インターネットを使って世界遺産に関する情報を集める。
- ・人気の秘密について、家族にもインタビューする。



奈良公園の鹿はかわいくとても人気がある。



大仏に興味をもっている人が多い。

阿修羅のような仏像が好きだという人も多い。

3. 世界遺産現地見学の計画を立てよう。(1時間)
- ・人気の秘密を確かめよう。
 - ・知っているようで知らない奈良のよさを見つけよう。

・注目ポイントを相談させ、見学のめあてをもたせる。

・協力して相談する。

みんなが興味をもっている大仏のよさをしっかりと見てきます。

なぜ奈良の鹿がそんなにみんなから注目されるのか見てきたいです。



4. 世界遺産現地見学(5時間)

- ・薬師寺
- ・唐招提寺
- ・東大寺

どこまでも続く伽藍の美しさに初めて気付きました。





デザイナーの和田先生も同行。

和田先生は二月堂の階段の模様(ますかけ)を撮影していた。自分たちの知らない奈良の良さはまだまだあると思う。



自分たちは気付いていなかったが、奈良にはすばらしいものがたくさんあった。

当たり前だと思っていたけど、鹿と人が一緒に暮らしているのはすごいことだと気付いた。

<p>5. 第一次のデザインと企画書を書こう。(6時間)</p>	<p>・伝えたい奈良らしさについて話し合い、イメージをふくらませる。</p>	<p>・奈良らしさを表現する。</p>	<p>ラフスケッチ</p>
<p>最初は自分には無理だと思っていたけど、描いている内に自信が出てきた。見学した後でアイデアが出てきて、そのアイデアをいれた手ぬぐいに見てみた。企画書なんて書いたことがなかったけど、自分の伝えたい良さが分かるよう工夫したところをアピールすればいいと分かった。</p>			
<p>6 - 米袋のデザイン。 ・水田で育てている米を配る袋のデザインをする。 6 - プレゼンテーション ・学校の中でプレゼンテーションを行い投票する。(5年生、教員)</p>	<p>・手ぬぐいのデザイン化の予備練習として、しっかり取り組ませる。</p> <p>学校内での投票結果(プレゼンテーション有り)と奈良人と自然の会の方たちの投票結果(プレゼンテーション無し)の投票結果は大きく違った。</p>		<p>水田での学習に協力してくださっている『奈良人と自然の会』からの依頼。</p>
<p>この結果は選んだ人の違いもあると思うけど、デザインだけでなく、自分のデザインの良さを知らしてもらうためのプレゼンテーションも重要だと思った。</p>			
<p>7. プレゼンテーション用のデザインを描こう。(10時間) ・ラフスケッチを元にプレゼンテーション用のデザインを描く。</p>	<p>・和田先生にゲストティーチャーとして来校してもらい、手ぬぐいのデザインについて教えてもらう。</p>		
<p>人によってデザインの感じ方はちがうんだなと思いました。...和田先生にデザインのかっこよさをほめられたことがすごくうれしくて、自信がもてるようになりました。</p>	<p>次の日に、和田先生の働いている朱鳥に行きました。...そこにあった数々のいい手ぬぐいを見て、これに負けないいいデザインにしたいと思いました。</p>		
<p>思いをこめてかっこいいデザインになればいいと思います...奈良には観光に来る人がたくさんいます。おみやげに買ってくれ、ぼくの思いが日本全国、外国にも届けられたらと夢は広がります。</p>			
<p>8. プレゼンテーションの練習をしよう。(2時間)</p>	<p>・全校児童への伝え方を工夫させる。</p>	<p>・伝え方を工夫する。</p>	



聞いてもらえる話し方を工夫しようと思った。低学年と高学年で話し方を変えた。相手によって話し方を変えると良いことが分かった。

8. デザインを発表しよう。(3時間)

- ・イオン高の原ショッピングセンターにて、一般の方に向けプレゼンテーションをする。
- ・それぞれのデザインについて、投票してもらう。



(会社の人、テレビ・新聞局の人、発表を聞いてくれた人に)ぼくたちとかかわってもらって、ふれあう力や、発表する力をつけてもらったので感謝しています。

僕たちはプレゼンテーションの時、一人の社会人として参加しました...この学習を通して、多くの人とかかわって、自分には奈良のいいところを伝えたり、説明したりする力がついたと思います...身近にこんな良いものがたくさんある奈良に住んでうれしく思います。



ぼくは多くの人とかかわりました。そして、いろいろな人の協力を得て、自分から奈良のよさを伝えられたので、自信ができました。

ぼくたちが伝えようとしている奈良のよさとは、古くから守ってきた人々の思い、これからも守っていこうとする人々の思いだと思います。

4. 成果と課題

現在、一点目の商品化が終了し店頭での販売が開始されている。他の児童のデザインについても全て(株)なら町長屋朱鳥まちながやあけみとりに納入され、随時商品化されていく予定である。

今回の取組を終えての何よりの成果は、全ての児童が自信を持てる活動ができたことである。多くの方と関わり、働きかけた経験によって、自分たちが社会に影響を与える力をもっていることに気付いたようである。また、今まで気付いていなかった奈良のすばらしさに気付くこともできた。また、デザイン化を意識することで、これまでと違った視点から奈良を見つめ、いろいろな人たちと奈良のよさを考えたことがこの結果につながった。

企業と連携した学習活動は、子どもが教員以外の大人と関わる機会が増えるとともに、商品化されることで、学びと社会とがつながり、子どもの学習意欲や社会への関心が高まった。しかし、今後企業と連携した学習を進めるにあたっては、一方的な協力を求めるのではなく、互恵性のある関係作りが必要であると感じる。



児童のデザインした手ぬぐい